

機関番号：37303  
 研究種目：基盤研究（B）  
 研究期間：2008～2010  
 課題番号：20360281  
 研究課題名（和文） 世界遺産候補五島列島の文化的景観と住生活の調和・保全ネットワーク形成に関する研究  
 研究課題名（英文） A study for establishing a network to preserve the cultural landscape in harmony with the local community - A case study on the Goto Islands as part of Nagasaki's nomination as a UN World Cultural Heritage Site.  
 研究代表者 細田 亜津子(HOSODA ATSUKO)  
 長崎国際大学・人間社会学部・教授  
 研究者番号：50331046

研究成果の概要（和文）：「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の一つである五島列島は、美しい景観と文化的景観を有している。しかし島の過疎化と高齢化は進んでいる。今後世界遺産登録後に予想される交流人口の増加は、この問題の解決になる一方、保全については島の人たちが将来担っていく必要がある。そのため島の異分野の老若男女の人々が交流しネットワークを作ることができた。島の景観と世界遺産を保護しながら自分たちで島の将来と町づくりを担っていく基礎を、島と島の地域間、人と人が協力してつくることができた。

研究成果の概要（英文）：

The Goto Islands are nominated as part of "Nagasaki Churches and Christian Sites in Nagasaki". They have beautiful natural scenery and cultural landscape. However, they are facing problems such as an aging society and declining population. If "Nagasaki Churches and Christian Sites" are listed on the World Cultural Heritage, this would bring the growth of tourism to them to help solve these problems. Meanwhile local people need to take responsibility for preserving the environment. The whole population on the islands has cooperated in establishing the network to revitalize local areas for the future.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
平成 20 年度	1,700,000	510,000	2,210,000
21 年度	1,400,000	420,000	1,820,000
22 年度	1,200,000	360,000	1,560,000
年度			
年度			
総計	4,300,000	1,290,000	5,590,000

研究分野：工学

科研費の分科・細目：都市計画・建築計画

キーワード：世界遺産、長崎の教会、五島、景観保全、観光

#### 1. 研究開始当初の背景

2007 年に世界遺産暫定リストに登録された「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」のなかで、とりわけ美しい文化的景観・自然遺産を有している五島列島を対象に、今後予想される交流人口の急増に対応すること。一方、離島であるために高齢化・過疎化が進行している現実がある。これらを考慮して今後の五

島列島のありかたを考える必要があった。

#### 2. 研究の目的

五島列島に今後予想される交流人口の増加を想定した上で、中・長期的な住生活の改善や文化財および文化的景観の保全に配慮した調和のとれた今後の五島の町づくりのありかたを調査し検討することである。また

この調査をもとに将来の五島のあり方を共に担う地域間および人と人のネットワークを作ることも目的である。

### 3. 研究の方法

- ①世界遺産暫定リスト候補である地域の今後と町づくりの方法について基礎調査を行う。「富岡製糸場と絹産業遺産群」の群馬県富岡市、「琉球王国のグスクと関連遺産群」の沖縄県での聞き取り調査などを行った。
- ②五島におけるまちづくりネットワーク形成のための基礎調査として、江袋教会の復元に協力し、復元作業でのネットワークの意味を理解する。五島でのネットワークの担い手として、異分野の人たち、教会関係者、神社関係者、地元企業、行政官に本研究の理解をもとめるためイベントを行う。これには老若男女が集まり、ネットワーク作りに基礎となること。
- ③文化的景観を保全するため、教会を中心とする景観を知るための航空写真撮影を行い分析した。
- ④地元主体のネットワーク作りをイベントを中心にしてスタートさせること。今後これらのネットワークが島の流入人口と過疎化・高齢化に対応するためのさらなるネットワークの取り組みを行うこと。

### 4. 研究成果

五島の人々が世界遺産とは何かを理解できたこと。また、これに伴う流入人口にどう対応するかという問題に異分野の人たちが始めて交流する機会を得て、将来の島を考えるようになったことは、特筆すべきである。また、文化的景観をいかすために地域の人々がこれを担うために小学生とのワークショップを行い、交流ができたことや、島の女性たちがこれに加わったことは今後の五島列島にとり重要である。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 件)

〔学会発表〕(計 件)

〔図書〕(計4件)

- ① 細田亜津子編、左海冬彦、高橋彰夫、金映辰、折原賢児、『五島列島 美しい島 美しい教会 美しい人々』2008年活動報告論集、1-47頁、長崎国際大学人間社会学部、2009年3月
- ② 細田亜津子、『五島列島の宝を長崎から世界の宝へ』、1-75頁、長崎国際大学人間社会学部、2011年3月

- ③ 細田亜津子、NPO法人サンミック出島編『上五島ネットワーク形成計画報告書』—五島列島の文化的景観と住生活の調和・保全ネットワーク形成に関する研究一、全35頁、長崎国際大学人間社会学部・サンミック出島、2010年3月
- ④ 細田亜津子、NPO法人サンミック出島編『上五島ネットワーク形成計画報告書』—五島列島の文化的景観と住生活の調和・保全ネットワーク形成に関する研究第2弾、全40頁、長崎国際大学人間社会学部、サンミック出島、2011年3月

〔産業財産権〕

○出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況(計◇件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

上五島および下五島における教会と周辺の文化的景観に関する航空写真は一般公開している。

<http://library.niu.ac.jp/NiuDA.htm>

(長崎国際大学アーカイブス)

図書③と④『上五島ネットワーク形成計画報告書』第一及び第二弾は以下に公開している。

<http://library.niu.ac.jp/NiuDA.htm>

(長崎国際大学アーカイブス)

### 6. 研究組織

(1) 研究代表者

細田 亜津子 (HODODA ATSUKO)  
長崎国際大学人間社会学部教授  
研究者番号：50331046

(2)研究分担者

左海冬彦 (SAKAI FUYUHIKO )

国土技術政策総合研究所

研究者番号：80462604

(3)連携研究者

( )

研究者番号：

研究協力者

高橋彰夫、NPO 法人サンミック出島